

SDGs 宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2023 年 2 月 3 日

| 事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿 | | | |
|--|---|--|---|
| 持続可能な開発目標（SDGs）の視点を持ち、知・徳・体のバランスのとれた力を身につけた子～共に高め合うよろこびを実感できる子～を育てる。 | | | |
| 事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動 | | | |
| 「よりよくなる！～自分らしく仲間と共に～」を重点目標に掲げ、山間部小規模校のよさをいかし、地域と共にある学校作りを推進している。 | | | |
| 目標に関連する取組内容 | | | |
| ゴール | 2022年12月31日までの取組目標 | 左記取組目標の達成状況 | 2023年12月31日までの取組目標 |
|  | <p>児童が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能の基礎を習得できるようにする。</p> <p>そのために</p> <p>①基礎学力の確実な定着を図る。AIドリルなど、学習用端末を活用し、主体的に学習に取り組むことで、学力の定着を図る。</p> <p>②年3回授業研を行い、子どもたちの学びをより充実させるために「子どもたちに付けたい力」「教師の手立て」を明確にし、授業改善につなげていく。</p> | <p>①朝の時間で繰り返し練習を行うと共に、チャレンジテストを年3回実施。子どもたちの基礎学力の定着につながった。また、AIドリルを活用することで、子どもたちが自分の力に合わせて学習内容を選んで取り組んでいる。主体的に学習に取り組むことが、基礎学力の定着につながっている。</p> <p>②年3回の研究授業を実施。学びをより充実させるために「子どもたちに付けたい力」と「教師の手立て」を話し合い、授業改善につなげた。</p> | <p>児童が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能の基礎を習得できるようにする。</p> <p>そのために</p> <p>①基礎学力の確実な定着を図る。AIドリルなど、学習用端末を活用し、主体的に学習に取り組むことで、学力の定着を図る。また、子ども自身が追究したい内容を、自ら学び、発表する場を設定していく。</p> <p>②年3回授業研を行い、子どもたちの学びをより充実させるために「子どもたちに付けたい力」「教師の手立て」を明確にし、授業改善につなげていく。</p> |
|  | <p>安全かつ強靱（レジリエント）な町および人間居住を実現するために、防災・安全教育を充実させ、自分の命は自分で守る意識や態度を育てる。</p> <p>そのために、</p> <p>①年6回避難訓練を実施し、自分の命は自分で守るための基礎的な力を身につけさせる。</p> <p>②小中一貫グループで連携し、生活科・総合的な学習（しずおか学）において「防災」について学ぶ機会を、年6時間設定する。</p> | <p>①避難訓練を年6回実施。教師が一切指示を出さない形式や予告なしの訓練も実施した。それにより、子どもたちは、自分で状況を判断し、命を守るためにどのような行動を取る必要があるのかを考えることができた。</p> <p>②「防災学習の日」を設定し、全校で地域の危険箇所を調査する活動や、炊き出し訓練を行った。また、県砂防課に依頼し、土砂災害に関する学習を行った。5・6年生は、防災学習で学んだ内容をまとめ、保護者、地域の方に発表した。</p> | <p>安全かつ強靱（レジリエント）な町および人間居住を実現するために、防災・安全教育を充実させ、自分の命は自分で守る意識や態度を育てる。</p> <p>そのために、</p> <p>①年6回避難訓練を様々な形式で実施する。「自分の命は自分で守る」をキーワードに、状況に応じて正しく判断し、命を守る行動がとれるようにしていく。</p> <p>②小中一貫グループで連携し、生活科・総合的な学習（しずおか学）において「防災」について学ぶ機会を、年6時間設定する。</p> |
|  | <p>グローバル・パートナーシップの基本となる、思いやりや協力の大切さ、自分で判断して行動できる力、世界の人々とつながろうとする意欲を育む。</p> <p>そのために、</p> <p>①委員会活動や宿泊活動等、様々な場面において、縦割りグループでの活動を取り入れ、思いやりや協力の大切さを学ぶ機会とする。また、教師の指示を減らすことで、子どもたちが判断し行動する場面を、意図的に設定していく。</p> <p>②イングリッシュデーを年12回設定し、積極的に英語に触れ、使う機会とする。</p> | <p>①委員会や学校行事において、縦割りグループを積極的に取り入れ、仲間と協力して活動したり、助け合って行動したりする姿が多く見られた。また、教師が子どもたちのよさや成長の伸びを見取り、積極的に子どもたちに伝えてきたことで、子どもたちの友達のよさを見つける目が育ち、仲間の頑張りを認めたり、励ましたりする姿がとて多く見られた。</p> <p>②イングリッシュデーを年13回実施。積極的に英語に触れ、使う機会とした。子どもたちはALTと積極的にかかわり、外国の文化に触れることができた。</p> | <p>グローバル・パートナーシップの基本となる、思いやりや協力の大切さ、自分で判断して行動できる力、世界の人々とつながろうとする意欲を育む。</p> <p>そのために、</p> <p>①委員会活動や宿泊活動等、様々な場面において、縦割りグループでの活動を取り入れ、思いやりや協力の大切さを学ぶ機会とする。また、教師の指示を減らすことで、子どもたちが判断し行動する場面を、意図的に設定していく。</p> <p>②イングリッシュデーを年14回設定し、積極的に英語に触れ、使う機会とする。</p> |

(記載上の注意)

- 1 取組目標は**3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載**してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

| | | | |
|---|------------------------|---|------|
| 1 | 事業所・団体等又は 関連事業者等の名称 | 静岡市立清水宍原小学校 | |
| | | 本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数 | |
| 2 | 業 種 | 1 1. 教育、学習支援業 | |
| 3 | 従業員（構成員）数 | 29人 | |
| 4 | 代表者 職・氏名 | 職 名 | 校長 |
| | | 氏 名 | 高山 広 |
| 5 | 所 在 地 | 〒 424-0301 | |
| | | 静岡市清水区宍原919番地 | |
| 6 | ホームページURL | https://shishihara-e.shizuoka.ednet.jp/ | |